

## 事前評価書

都道府県名	長崎県	関係市町村	対馬市
-------	-----	-------	-----

事業名	水産資源環境整備事業 ( 水産生産基盤整備事業 )		
地区名	サイカイ 西海	事業主体	長崎県対馬市

## I 基本事項

## 1. 地区概要

漁港名(種別)	西海漁港(第1種)	漁場名	西海漁場
陸揚金額	1,871 百万円	陸揚量	673 トン
登録漁船隻数	119 隻	利用漁船隻数	119 隻
主な漁業種類	海面養殖業、海面漁業	主な魚種	くろまぐろ類、ぶり類
漁業経営体数	48 経営体	組合員数	95 人
地区の特徴	当地区は、対馬市の中央部に位置しており、対馬海峡西水道側に面し対馬暖流と沿岸水が混合した好漁場を有し、マグロの養殖業が盛んに行われている。マグロは、圏域内の生産量全体の約5割を生産しているなど、養殖生産拠点地域として重要な役割を担っている。		

## 2. 事業概要

事業目的	<p>当漁港は、係留施設が不足しているため、陸揚げの一部を安全性が確保されていない個人所有施設で行う等、非効率かつ危険な作業となっているほか、干満差が大きいため、岸壁との高低差があり危険かつ重労働を強いられている。加えて、生簀や漁網の修理・保管等の用地が不足するとともに、道路が狭く輸送用車両が入れない場所があり、フォークリフトで複数回運搬するなど、非効率な状況となっている。このため、岸壁や浮棧橋等の整備により漁業者の安全性を確保するとともに、用地、道路等の整備により作業環境の改善を図り、漁業活動の生産性向上を図る。</p> <p>また、台風等の荒天時に静穏水域が確保されていないことから、陸揚げ・準備の際に漁船が揺動するなど漁業活動に支障をきたしており、危険な状況である。このため、防波堤や護岸の整備を行い、作業の安全性向上を図る。</p>		
主要工事計画	<p>西海漁港(今里地区)： 西防波堤 L=40m, 東防波堤(改良) L=40m, A護岸(改良) L=12m, B護岸 L=17m, C護岸 L=14m, -3m岸壁 L=230m, 物揚場 L=100m, 浮棧橋 1基, -3m岸壁(改良) L=20m, 道路 L=297m, 用地 A=1, 630㎡</p> <p>西海漁港(屋ヶ浦地区)： 沖防波堤 L=30m, -3m岸壁 L=170m, 船揚場 L=20m, 道路 L=170m, 用地 A=2, 600㎡</p>		
事業費	3,400百万円	事業期間	令和8年度～令和14年度

## II 必須項目

1. 事業の必要性		
<p>西海漁港は、中対馬圏域の生産拠点であるが、近年の波高の増大に伴い台風接近時等に越波や浸水等により、漁船の揺動や漁具の流出等の被害が生じている。また、マグロ養殖陸揚量の増加に伴い、岸壁や用地施設が不足しているため、一部の準備・陸揚作業においては、輸送用車両も入れない場所で安全性が確保されない個人所有施設で行うなど非効率かつ危険な作業を強いられている。</p> <p>以上から、漁業活動の安全性向上のため、防波堤等の延伸及び新設整備、漁業活動の効率化や生産性向上に資する岸壁及び浮棧橋、道路・用地の整備を行う必要がある。</p>		
2. 事業採択要件		
<p>① 計画事業費：3,400,000千円（採択要件：2,000,000千円以上）</p> <p>② 漁港種別：第1種漁港（昭和40年12月に指定）</p> <p>③ 登録漁船数：119隻（令和5年）（採択要件：100隻以上） 若しくは属地陸揚金額：1,871百万円（採択要件：200百万円以上）</p>		
3. 事業を実施するために必要な基本的な調査		
<p>（1）利用面、防護面、施工面等から適切な位置を選定するための地理的条件、自然条件に関する基本的な調査</p> <p>周辺の深淺図、潮位、波浪、背後地の状況等を調査</p>		
<p>（2）施設の利用の見込み等に関する基本的な調査</p> <p>登録漁船数及び漁獲量についての将来予測、係船岸の利用状況、港内静穏度等を調査</p>		
<p>（3）自然環境、生活環境等の周辺環境及びそれに与える影響の把握</p> <p>底質（粒径等）を調査</p>		
4. 事業を実施するために必要な調整		
<p>（1）地元漁業者、地元住民等との調整</p> <p>美津島町西海漁業協同組合を通じて地元住民との調整済</p>		
<p>（2）関係都道府県、関係市町村、関係部局（隣接海岸、道路、河川、港湾、環境等）との事前調整</p> <p>長崎県漁港漁場課、長崎県対馬振興局、対馬市管理課等との事前調整済</p>		
5. 事業の投資効果が十分見込まれること		
費用便益比 B/C :	1.12	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

## Ⅲ 優先配慮項目

分類項目			評価指標	評価	
大項目	中項目	小項目			
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	生産	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	—
			資源管理諸施策との連携	—	
			漁家経営の安定 (水産物の安定供給)	生産量の増産(持続・増産・下降抑制)	B
			生産コストの縮減等(効率化・計画性の向上)	B	
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	—	
			環境保全効果の持続的な発揮	—	
		陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	B
				消費者への安定提供	B
	漁業活動の効率化		漁港等の機能の強化	A	
	労働環境の向上		就労改善等	A	
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	—	
			災害時の緊急対応	—	
	漁業の成長力強化	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	B	
		水産物流通に与える効果	水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	—	
地域経済に与える効果		加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	—		
効率性	コスト縮減対策		計画時におけるコスト縮減対策の検討	A	
事業の実施環境	他計画との整合		地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	B	
	他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	—	
	循環型社会の構築		リサイクルの促進等	B	
	環境への配慮		生態系への配慮等	—	
	多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	—	

## Ⅳ 総合評価

本漁港は、属人陸揚金額約19億円と中対馬圏域におけるマグロ養殖の生産基地として非常に重要な役割を担っているが、近年大型化する台風接近時等に越波や浸水等により、漁船の揺動や漁具の流出等の被害が生じている。また、マグロ養殖陸揚量の増加に伴い、岸壁や用地施設の不足による危険且つ非効率な作業を強いられている。

当事業では、防波堤、護岸及び主要な陸揚岸壁の静穏度を向上させる改良整備や不足している用地の整備、また、浮棧橋、浮体式係船岸を整備し、漁業活動の安全性・効率性を確保するものであり、費用対効果分析の結果、費用便益比も1.0を超えていることから、事業の実施は妥当であると判断される。

### 多段階評価の評価根拠について

分類項目			評価指標	評価根拠	評価	
大項目	中項目	小項目				
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	該当無し	—	
			資源管理諸施策との連携	該当無し	—	
		漁家経営の安定(水産物の安定供給)	生産量の増産(持続・増産・下降抑制)	岸壁、用地等の整備により、マグロ養殖生け簀のストックが可能となり、マグロ養殖の安定供給が期待されることから「B」と評価した。	B	
			生産コストの削減等(効率化・計画性の向上)	外郭施設の整備による港内静穏度向上や、岸壁の整備による係留や陸揚時間短縮によって労働時間の効率化が期待されることから「B」と評価した。	B	
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	該当無し	—	
			環境保全効果の持続的な発揮	該当無し	—	
		陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	浮桟橋の整備により、陸揚時間が短縮し、品質の確保が期待されることから「B」と評価した。	B
				消費者への安定提供	港内静穏度の向上により、出漁機会の増加が期待されることから「B」と評価した。	B
			漁業活動の効率化	漁港等の機能の強化	圏域内の生産拠点漁港としての役割を担っており、当事業において更なる役割強化が期待されることから「A」と評価とした。	A
			労働環境の向上	就労改善等	岸壁等の整備により、危険な状況での作業が解消されることから「A」と評価した。	A
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	該当無し	—	
			災害時の緊急対応	該当無し	—	
	漁業の成長力強化	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	岸壁、用地等の整備により、マグロ養殖生け簀のストックが可能となり、マグロ養殖の安定供給が期待されることから「B」と評価した。	B	
		水産物流通に与える効果	水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	該当無し	—	
		地域経済に与える効果	加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	該当無し	—	
	効率性	コスト削減対策	計画時におけるコスト削減対策の検討	防波堤や岸壁(改良)等、既存施設の改良による施設整備を計画しており、既存ストックを有効に利用したものであるため、「A」と評価した。	A	
事業の実施環境等	他計画との整合		地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	浜の活力再生広域プランに位置付けられる整備方針と整合しており、その推進に寄与することから「B」と評価した。	B	
	他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	該当無し	—	
	循環型社会の構築		リサイクルの促進等	当事業で発生した建設副産物は再生資源として再利用するため、「B」と評価した。	B	
	環境への配慮		生態系への配慮等	該当無し	—	
	多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	該当無し	—	

## 費用対効果分析集計表

## 1 基本情報

都道府県名	長崎県	地区名	サイカイ 西海
事業名	水産生産基盤整備事業	施設の耐用年数	50年

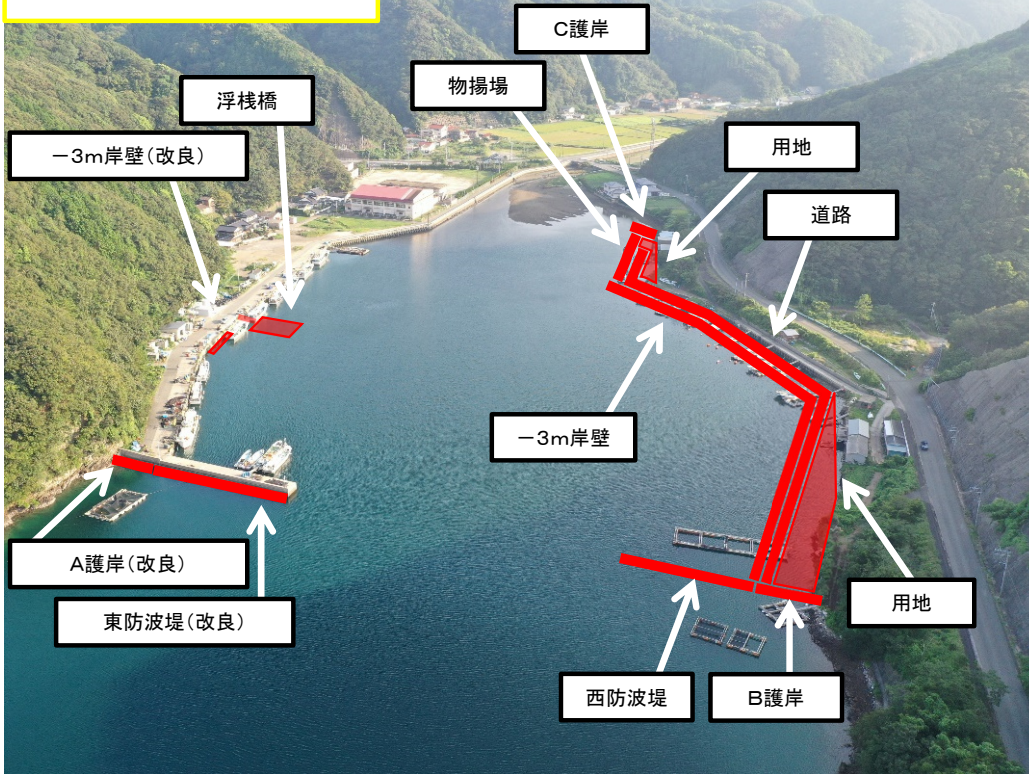
## 2 評価項目

便益の 評価項目 及び 便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	3,055,640
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	148,641	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額）	B	3,204,281	千円
	総費用額（現在価値化）	C	2,849,916	千円
	費用便益比	B / C	1.12	

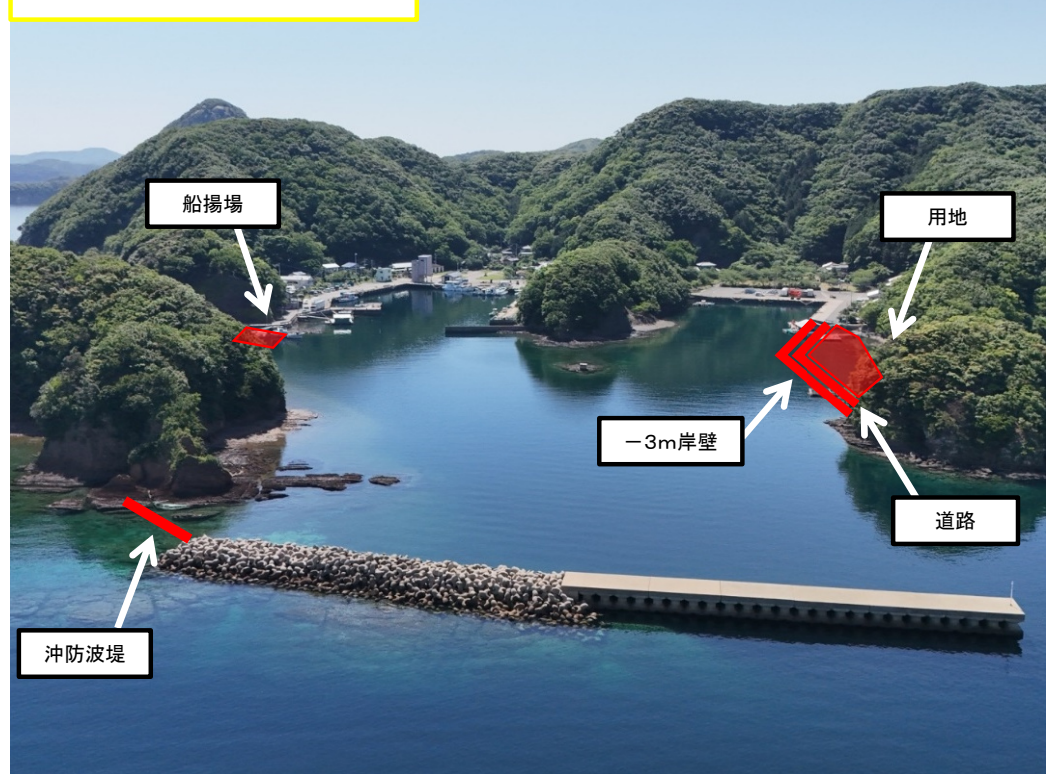
## 3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・外郭施設の整備により、荒天時の漁船保全に対する安心感が得られる。
- ・浮棧橋等の軽労化施設の整備により、身体への負担が軽減され安心感が得られる。
- ・用地舗装により車両作業における安心感、作業時における清潔感がもたらされる。
- ・就労環境の改善により労働意欲の向上が図られる。
- ・漁村の定住化を促進させることにより、沿岸域の生活圏を確保し、地域の均衡ある発展に寄与する。

西海漁港(今里地区)



西海漁港(昼ヶ浦地区)



事業主体:長崎県対馬市

主要要工事計画:西海漁港(今里地区)

西防波堤 40m、東防波堤(改良) 40m、A護岸(改良) 12m、B護岸 17m、C護岸 14m  
 -3m岸壁 230m、物揚場 100m、浮棧橋 1基、-3m岸壁(改良) 20m  
 道路 297m、用地 1, 630㎡

西海漁港(昼ヶ浦地区)

沖防波堤 30m  
 -3m岸壁 170m、船揚場 20m  
 道路 170m、用地 2, 600㎡

事業費:3, 400百万円

事業期間:令和8年度~令和14年度



## 西海漁港 水産生産基盤整備事業の効用に関する説明資料

## 1. 事業概要

- (1) 事業目的： 当地区は、対馬市の中央部に位置しており、対馬海峡西水道側に面し対馬暖流と沿岸水が混合した好漁場を有し、マグロの養殖業が盛んに行われている。マグロは、圏域内の生産量全体の約5割を生産しているなど、養殖生産拠点地域として重要な役割を担っている。  
当漁港は、係留施設が不足しているため、陸揚げの一部を安全性が確保されていない個人所有施設で行う等、非効率かつ危険な作業となっているほか、干満差が大きいため、岸壁との高低差があり危険かつ重労働を強いられている。加えて、生簀や漁網の修理・保管等の用地が不足するとともに、道路が狭く輸送用車両が入れない場所があり、フォークリフトで複数回運搬するなど、非効率な状況となっている。このため、岸壁や浮棧橋等の整備により漁業者の安全性を確保するとともに、用地、道路等の整備により作業環境の改善を図り、漁業活動の生産性向上を図る。  
また、台風等の荒天時に静穏水域が確保されていないことから、陸揚げ・準備の際に漁船が動揺するなど漁業活動に支障をきたしており、危険な状況である。このため、防波堤や護岸の整備を行い、作業の安全性向上を図る。
- (2) 主要工事計画： 西海漁港（今里地区）  
西防波堤 L=40m、東防波堤(改良) L=40m、A護岸(改良) L=12m、B護岸 L=17m、C護岸 L=14m  
-3m岸壁 L=230m、物揚場 L=100m、浮棧橋 1基、-3岸壁(改良) L=20m  
道路 L=297m  
用地 A=1,630㎡  
  
西海漁港（昼ヶ浦地区）  
沖防波堤 L=30m  
-3m岸壁 L=170m  
道路 L=170m  
用地 2,600㎡、船揚場 L=20m
- (3) 事業費： 3,400百万円  
(4) 工期： 令和8年度～令和14年度

## 2. 総費用便益比の算定

## (1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	2,849,916（千円）
総便益額（現在価値化）	②	3,204,281（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.12

## (2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
西海漁港（今里地区）		
西防波堤	L = 40 m	220,000
東防波堤(改良)	L = 40 m	64,000
A護岸(改良)	L = 12 m	24,000
B護岸	L = 17 m	44,000
C護岸	L = 14 m	36,000
-3m岸壁	L = 230 m	784,000
物揚場	L = 100 m	360,000
浮棧橋	N = 1 基	300,000
-3m岸壁(改良)	L = 20 m	48,000
道路	L = 297 m	60,000
用地	A = 1,630 ㎡	160,000
西海漁港（昼ヶ浦地区）		
沖防波堤	L = 30 m	135,000
-3m岸壁	L = 170 m	612,000
船揚場	L = 20 m	225,000
道路	L = 170 m	68,000
用地	A = 2,600 ㎡	260,000
計		3,400,000
維持管理費等		719,250
総費用（消費税込）		4,119,250
内、消費税額		374,477
総費用（消費税抜）		3,744,773
現在価値化後の総費用		2,849,916

## (3) 年間標準便益

## 西海漁港

効果項目	区分	年間標準便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		181,110	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防波堤整備による係留作業時間の削減効果</li> <li>・防波堤整備による漁船耐用年数の延長効果</li> <li>・防波堤整備による漁船避難作業時間等の短縮効果</li> <li>・防波堤整備による警戒・監視所要時間の短縮効果（他港避難）</li> <li>・防波堤整備による警戒・監視所要時間の短縮効果（地元係留）</li> <li>・浮桟橋整備による陸揚げ作業時間の短縮効果</li> <li>・物揚場・岸壁整備による係留コスト削減効果</li> <li>・道路整備による給餌・出荷運搬時間の短縮効果</li> <li>・用地舗装による定置網の転置作業コストの削減効果</li> <li>・用地造成による漁網の耐用年数の増加効果</li> <li>・浮体式係船岸整備による休けい用係留作業時間の短縮効果</li> <li>・浮体式係船岸整備による給油作業時間の短縮効果</li> </ul>
漁業就業者の労働環境改善効果		9,105	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港施設整備による労働環境の改善効果</li> </ul>
計		190,215	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表 z

評価期間	年度	割引率 ①	デフレータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)					
				事業費 (維持管理費含む) ③	事業費 (税抜) ③	現在価値 (維持管理費含む) ①×②×③	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲機会 増大効果	漁獲物 付加価値化 の効果	漁業従業者 の労働環境 改善効果	計 ④	現在価値 (千円) ①×④
-1	6	1.040	1.003	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	7	1.000	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	8	0.962	1.000	150,000	136,364	131,182	0	0	0	0	0	0
2	9	0.925	1.000	500,000	454,545	420,454	0	0	0	0	0	0
3	10	0.889	1.000	600,240	545,673	485,103	3,450	0	0	0	3,450	3,067
4	11	0.855	1.000	601,740	547,036	467,716	3,450	0	0	0	3,450	2,949
5	12	0.822	1.000	601,740	547,036	449,664	12,846	0	0	0	12,846	10,559
6	13	0.790	1.000	605,140	550,127	434,600	12,846	0	0	0	12,846	10,148
7	14	0.760	1.000	361,485	328,623	249,753	116,514	0	0	0	116,514	88,550
8	15	0.731	1.000	14,385	13,077	9,559	181,110	0	0	9,105	190,215	139,047
9	16	0.703	1.000	14,385	13,077	9,193	181,110	0	0	9,105	190,215	133,721
10	17	0.676	1.000	14,385	13,077	8,840	181,110	0	0	9,105	190,215	128,585
11	18	0.650	1.000	14,385	13,077	8,500	181,110	0	0	9,105	190,215	123,639
12	19	0.625	1.000	14,385	13,077	8,173	181,110	0	0	9,105	190,215	118,884
13	20	0.601	1.000	14,385	13,077	7,859	181,110	0	0	9,105	190,215	114,319
14	21	0.577	1.000	14,385	13,077	7,545	181,110	0	0	9,105	190,215	109,754
15	22	0.555	1.000	14,385	13,077	7,258	181,110	0	0	9,105	190,215	105,569
16	23	0.534	1.000	14,385	13,077	6,983	181,110	0	0	9,105	190,215	101,574
17	24	0.513	1.000	14,385	13,077	6,709	181,110	0	0	9,105	190,215	97,580
18	25	0.494	1.000	14,385	13,077	6,460	181,110	0	0	9,105	190,215	93,966
19	26	0.475	1.000	14,385	13,077	6,212	181,110	0	0	9,105	190,215	90,352
20	27	0.456	1.000	14,385	13,077	5,963	181,110	0	0	9,105	190,215	86,738
21	28	0.439	1.000	14,385	13,077	5,741	181,110	0	0	9,105	190,215	83,504
22	29	0.422	1.000	14,385	13,077	5,518	181,110	0	0	9,105	190,215	80,270
23	30	0.406	1.000	14,385	13,077	5,309	181,110	0	0	9,105	190,215	77,227
24	31	0.390	1.000	14,385	13,077	5,100	181,110	0	0	9,105	190,215	74,183
25	32	0.375	1.000	14,385	13,077	4,904	181,110	0	0	9,105	190,215	71,330
26	33	0.361	1.000	14,385	13,077	4,721	181,110	0	0	9,105	190,215	68,667
27	34	0.347	1.000	14,385	13,077	4,538	181,110	0	0	9,105	190,215	66,004
28	35	0.333	1.000	14,385	13,077	4,355	181,110	0	0	9,105	190,215	63,341
29	36	0.321	1.000	14,385	13,077	4,198	181,110	0	0	9,105	190,215	61,059
30	37	0.308	1.000	14,385	13,077	4,028	181,110	0	0	9,105	190,215	58,586
31	38	0.296	1.000	14,385	13,077	3,871	181,110	0	0	9,105	190,215	56,303
32	39	0.285	1.000	14,385	13,077	3,727	181,110	0	0	9,105	190,215	54,211
33	40	0.274	1.000	14,385	13,077	3,583	181,110	0	0	9,105	190,215	52,118
34	41	0.264	1.000	14,385	13,077	3,452	181,110	0	0	9,105	190,215	50,216
35	42	0.253	1.000	14,385	13,077	3,308	181,110	0	0	9,105	190,215	48,124
36	43	0.244	1.000	14,385	13,077	3,191	181,110	0	0	9,105	190,215	46,412
37	44	0.234	1.000	14,385	13,077	3,060	181,110	0	0	9,105	190,215	44,510
38	45	0.225	1.000	14,385	13,077	2,942	181,110	0	0	9,105	190,215	42,798
39	46	0.217	1.000	14,385	13,077	2,838	181,110	0	0	9,105	190,215	41,276
40	47	0.208	1.000	14,385	13,077	2,720	181,110	0	0	9,105	190,215	39,564
41	48	0.200	1.000	14,385	13,077	2,615	181,110	0	0	9,105	190,215	38,043
42	49	0.193	1.000	14,385	13,077	2,524	181,110	0	0	9,105	190,215	36,711
43	50	0.185	1.000	14,385	13,077	2,419	181,110	0	0	9,105	190,215	35,189
44	51	0.178	1.000	14,385	13,077	2,328	181,110	0	0	9,105	190,215	33,858
45	52	0.171	1.000	14,385	13,077	2,236	181,110	0	0	9,105	190,215	32,526
46	53	0.165	1.000	14,385	13,077	2,158	181,110	0	0	9,105	190,215	31,385
47	54	0.158	1.000	14,385	13,077	2,066	181,110	0	0	9,105	190,215	30,053
48	55	0.152	1.000	14,385	13,077	1,988	181,110	0	0	9,105	190,215	28,912
49	56	0.146	1.000	14,385	13,077	1,909	181,110	0	0	9,105	190,215	27,771
50	57	0.141	1.000	14,385	13,077	1,844	181,110	0	0	9,105	190,215	26,820
51	58	0.135	1.000	14,385	13,077	1,765	181,110	0	0	9,105	190,215	25,679
52	59	0.130	1.000	14,385	13,077	1,700	181,110	0	0	9,105	190,215	24,727
53	60	0.125	1.000	14,145	12,859	1,607	177,660	0	0	9,105	186,765	23,345
54	61	0.120	1.000	12,645	11,495	1,379	177,660	0	0	9,105	186,765	22,411
55	62	0.116	1.000	12,645	11,495	1,333	168,264	0	0	9,105	177,369	20,574
56	63	0.111	1.000	9,245	8,405	933	168,264	0	0	9,105	177,369	19,687
57	64	0.107	1.000	2,900	2,636	282	64,596	0	0	9,105	73,701	7,886
58	65	0.103	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59	66	0.099	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	67	0.095	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現在価値合計				4,119,250		2,849,916	3,055,640	0	0	148,641		3,204,281

## 3. 効果額の算定方法

## 西海漁港

## (1) 水産物生産コストの削減効果

## 1) 防波堤整備による係留作業時間の削減効果

西海漁港は、冬期北西風や台風等の荒天時には強風の影響により港内の静穏度が悪化しているため、漁船が動揺し、接岸時の操船及び係留作業に時間を要している。

防波堤及び防風柵の整備により港内静穏度が向上し、荒天時における漁船の係留作業時間の短縮を図る。

区分		備考
港内係留地元漁船数：(隻) 今里	①	35
港内係留地元漁船数：(隻) 昼ヶ浦	②	47
年間係留作業支障日数 (荒天時)：(日/年) 2日/月	③	24
漁業労務単価：(円/h r)	④	1,643
作業員数：(人/隻)	⑤	2
係留作業時間：(h r/隻)		
整備前 今里	⑥	1.00
整備後 今里	⑦	0.25
整備前 昼ヶ浦	⑧	0.50
整備後 昼ヶ浦	⑨	0.25
年間便益額：(千円/年)		2,996
		$(① \times (⑥ - ⑦) + ② \times (⑧ - ⑨)) \times ③ \times ④ \times ⑤ / 1,000$

## 2) 防波堤整備による漁船耐用年数延長効果

西海漁港は、冬期北西風や台風等の荒天時には強風の影響により港内の静穏度が悪化しているため、係船漁船同士の衝突や岸壁・筏等への接触による船体損傷が懸念されている。

防波堤及び防風柵の整備により港内静穏度が向上し、荒天時における漁船動揺が軽減され、漁船の耐用年数延長を図る。

区分		備考
対象漁船トン数：(t) 82隻	①	332.3
3 t 未満		40.4
3 t ~ 5 t		87.8
5 t ~ 10 t		101.5
10 t ~ 20 t		102.6
漁船耐用年数：(年)	②	7
漁船耐用年数の延長：(年)	③	3.17
漁船の建造費：(千円/t)	④	4,836
年間便益額：(千円/年)		71,557
		$(1/② - 1/(② + ③)) \times ① \times ④$

3) 防波堤整備による漁船避難作業時間等の短縮効果

西海漁港は、台風等の荒天時には強風の影響により港内の静穏度が悪化しているため、影響の小さい近隣の入り江等に漁船の避難を強いられている。

防波堤及び防風柵の整備により港内静穏度が向上し、荒天時にも自港係留が可能となることで他港避難が解消され、避難時間の短縮を図る。

区分			備考
台風1回当たり所要日数：(日/回)	①	2	
年間避難隻数：(隻) 今里	②	21	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間避難隻数：(隻) 昼ヶ浦	③	24	
1隻当たり乗組員数：(人/隻)	④	2	
1隻当たり補助労務員数：(人/隻)	⑤	1	
漁業労務単価：(円/hr)	⑥	1,643	
1回当たり所要時間(船員)：(hr/回) 今里	⑦	2.2	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1回当たり所要時間(船員)：(hr/回) 昼ヶ浦	⑧	3.0	
1回当たり所要時間(補助員)：(hr/回) 今里	⑨	1.7	
1回当たり所要時間(補助員)：(hr/回) 昼ヶ浦	⑩	1.9	
ライトバン移動経費(1,500CC)：(L/hr)	⑪	2.7	建設機械等損料算定表(R7年10月、長崎県)
移動時間(往復)：(hr/回) 今里	⑫	0.2	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
移動時間(往復)：(hr/回) 昼ヶ浦	⑬	0.4	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
燃料代・ガソリン(離島)：(円/L)	⑭	119	基本単価一覧表(R7年12月、長崎県)
年間避難回数・係留回数：(回/年)			調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前	⑮	2	
整備後	⑯	0	
年間便益額：(千円/年)	船員労務	⑰	$(15-16) \times ① \times (② \times ⑦ + ③ \times ⑧) \times ④ \times ⑥ / 1,000$
	補助員労務	⑱	$(15-16) \times ① \times (② \times ⑦ + ③ \times ⑧) \times ④ \times ⑥ / 1,000$
	ライトバン経費	⑲	$(15-16) \times (② \times ⑫ + ③ \times ⑬) \times ⑪ \times ⑭ / 1,000$
			2,095

## 4) 防波堤整備による警戒・監視所要時間短縮効果（他港避難）

西海漁港は、台風等の荒天時において、漁船避難時には避難先での漁船警戒監視・見回り等の作業を強いられている。

防波堤及び防風柵の整備により港内静穏度が向上し、荒天時にも自港係留が可能となることで他港避難が解消され、避難に伴う警戒監視時間の短縮を図る。

区分			備考	
避難1回当たり警戒監視日数：（日/回）	①	2	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
港外避難隻数：（隻）	②	36		
1隻当たりの警戒監視人数：（人/隻）	③	2		
漁業労務単価：（円/h r）	④	1,643	第71次九州農林水産統計年報（R5～R6、農林水産省）	
ライトバン移動経費（1,500CC）：（L/h r）	⑤	2.7	建設機械等損料算定表（R7年10月、長崎県）	
燃料代・ガソリン（離島）：（円/L）	⑥	119	基本単価一覧表（R7年12月、長崎県）	
1日当たり警戒監視回数：（回/日）	⑦	3	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
港外避難回数：（回/年）				
整備前	⑧	2		
整備後	⑨	0		
1回当たり警戒監視所要時間：（h r/回）				
整備前（避難港）	⑩	0.5		
整備後（地元港）	⑪	0.3		
1日当たり警戒監視所要時間：（h r/日）				
整備前（避難港）	⑦×⑩	⑫		1.5
整備後（地元港）	⑦×⑪	⑬		0.9
1回当たり移動時間（往復）：（h r/回）				
整備前（避難港）	⑭	0.6		
整備後（地元港）	⑮	0.2		
1日当たり移動時間：（h r/日）				
整備前（避難港）	⑦×⑭	⑯		1.8
整備後（地元港）	⑦×⑮	⑰	0.6	
年間便益額：（千円/年）	労務	⑱	283	$(⑧-⑨) \times ① \times ② \times ③ \times ④ \times (⑫-⑬) / 1,000$
	ライトバン経費	⑲	55	$(⑧-⑨) \times ① \times ② \times ⑤ \times ⑥ \times (⑯-⑰) / 1,000$
			338	⑱+⑲

## 5) 防波堤整備による警戒・監視所要時間短縮効果(地元係留)

西海漁港は、冬期北西風や台風等の荒天時には強風の影響により港内の静穏度が悪化しているため、自港に係留している漁船の警戒監視・見回り等の作業を強いられている。

防波堤及び防風柵の整備により港内静穏度が向上し、荒天時における漁船動揺が軽減され、警戒監視時間の短縮を図る。

区分			備考	
警戒監視日数：(日/年)	①	24	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
警戒監視対象隻数：(隻)	②	68		
1隻当たり警戒監視員数：(人/隻)	③	2		
漁業労務単価：(円/hr)	④	1,643	第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)	
1回当たり所要時間：(hr/回)			調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
整備前	⑤	0.5		
整備後	⑥	0.3		
1日当たり所要回数：(回/日)				
整備前	⑦	3		
整備後	⑧	1		
1日当たり所要時間：(hr/日)				
整備前	⑤×⑦	⑨		1.5
整備後	⑥×⑧	⑩		0.3
年間便益額：(千円/年)		6,435		①×②×③×④×(⑨-⑩) / 1,000

6) 浮棧橋・岸壁整備による陸揚げ作業時間の短縮効果

西海漁港は、干満差が大きく、準備・陸揚作業に時間を要している。また、港内の一部においては、岸壁等が整備されていない場所でも陸揚しており、安全性が確保されていないため、危険な作業を強いられている。

浮棧橋、岸壁等の整備により就労環境が向上し、安全で効率的な作業が可能となり、作業時間の短縮を図る。

区分			備考
年間出漁日数：(日/年)	①	133	第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)
対象漁船数：(隻) 今里	②	35	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
対象漁船数：(隻) 昼ヶ浦	③	20	
1隻当たり作業員数：(人/隻)	④	2	
漁業労務単価：(円/h r)	⑤	1,643	第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)
1隻当たり陸揚作業時間：(h r/隻)			調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 今里	⑥	1.0	
整備後 今里	⑦	0.5	
整備前 昼ヶ浦	⑧	0.7	
整備後 昼ヶ浦	⑨	0.5	
年間便益額：(千円/年)		9,396	$((⑥-⑦) \times ② + (⑧-⑨) \times ③) \times ① \times ④ \times ⑤ / 1,000$

7) 物揚場・岸壁整備による係留コスト削減効果

西海漁港の一部においては、岸壁等が整備されていないため、接岸時の操船及び係留作業に時間を要している。

物揚場・岸壁の整備により係留時間が短縮し、安全で効率的な作業が可能となり、係留コストと作業時間の削減を図る。

区分			備考
年間係留作業日数：(日/年)	①	133	第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)
対象作業船数：(隻)	②	21	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1隻当たり作業員数：(人/隻)	③	2	
漁業労務単価：(円/h r)	④	1,643	
1隻当たり係留作業時間：(h r/隻)			調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前	⑤	1.5	
整備後	⑥	0.3	
係留筏等修繕単価：(千円/隻)	⑦	200	
対象漁船数：(隻)	⑧	21	
年間便益額：(千円/年)	⑨	15,672	$(⑤-⑥) \times ① \times ② \times ③ \times ④ / 1,000 + ⑦ \times ⑧$

## 8) 道路整備による給餌・出荷運搬時間の短縮効果

西海漁港の一部においては、岸壁や道路等が整備されていないため、餌や出荷用養殖マグロを輸送する車両の乗り入れができずフォークリフトで代用運搬するなど、非効率かつ危険な作業を強いられている。

道路の整備により荷卸し・集荷作業動線が円滑化し、安全で効率的な作業が可能となり、作業時間の短縮を図る。

区分			備考
給餌運搬回数：(回/年)	①	52	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
給餌利用経営体：(経営体)	②	2	
出荷運搬回数：(回/年)	③	52	
出荷利用経営体：(経営体)	④	2	
1回当たり作業員数：(人/回)	⑤	8	
1回当たり所要時間：(hr/隻)			
整備前	⑥	4.0	
整備後	⑦	0.5	
漁業労務単価：(円/hr)	⑧	1,643	第71次九州農林水産統計年報(R5～R6、農林水産省)
年間便益額：(千円/年)		9,568	$(⑥-⑦) \times (① \times ② + ③ \times ④) \times ⑤ \times ⑧ / 1,000$

## 9) 用地舗装による漁網の転置作業コスト削減効果

西海漁港は、用地舗装が整備されていないため、漁網の洗浄時には水の使用により表層部がぬかるむことから、乾燥時に漁網の転置作業を行う必要があり、非効率な作業を強いられている。

用地舗装の整備により清掃・補修作業時の漁網の乾燥環境が向上し、転置回数の削減を図る。

区分			備考
用地利用経営体(マグロ養殖)：(経営体)	①	4	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1経営体当たり網数：(パート/統)	②	12	
年間網干し回数：(回/年)	③	4	
1回当たり作業員数：(人/回)	④	6	
1日当たり作業時間：(hr/日)	⑤	6	
漁業労務単価：(円/hr)	⑥	1,643	第71次九州農林水産統計年報(R5～R6、農林水産省)
1パート当たり転置回数：(回/パート)			調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前	⑦	2	
整備後	⑧	1	
年間便益額：(千円/年)		11,356	$(⑦-⑧) \times ① \times ② \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1,000$

1 0) 用地造成による漁網の耐用年数増加効果

西海漁港は、漁具保管修理施設用地が不足し、また、舗装が整備されていないため、漁網等を積み重ねて保管しているが、網の重なり部や土に接する部分の損傷、転置による摩耗が著しい。

用地造成の整備により用地不足の解消し、また、漁網の清掃・補修作業においても転置回数の削減による漁網の摩耗が軽減され、漁網の耐用年数増加を図る。

区分		備考
漁網単価 (マグロ養殖) : (千円/網)	①	4,000
用地利用経営体 (マグロ養殖) : (経営体) 今里	②	2
用地利用経営体 (マグロ養殖) : (経営体) 昼ヶ浦	③	2
1 経営体当たりマグロ養殖網数 : (網/経営体 今里)	④	12
1 経営体当たりマグロ養殖網数 : (網/経営体 昼ヶ浦)	⑤	30
網耐用年数 (マグロ養殖) : (年)		
整備前	⑥	6
整備後	⑦	12
年間便益額 : (千円/年) マグロ養殖		28,000
		$(1/⑥ - 1/⑦) \times ① \times (② \times ④ + ③ \times ⑤)$

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：実績調査

1 1) 浮体式係船岸整備による給油作業時間の短縮効果

西海漁港は、干満差が大きく、給油作業時には危険な体勢での作業を強いられており、準備作業に時間を要している。

浮棧橋の整備により就労環境が向上し、安全で効率的な作業が可能となり、作業時間の短縮を図る。

区分		備考
年間給油作業日数 : (日/年)	①	100
対象漁船数 : (隻)	②	35
給油作業員数 : (人/隻)	③	2
漁業労務単価 : (円/h r)	④	1,643
給油作業時間 : (h r/隻)		
整備前	⑤	0.6
整備後	⑥	0.3
年間便益額 : (千円/年)		3,450
		$(⑤ - ⑥) \times ① \times ② \times ③ \times ④ / 1,000$

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

## 1 2) 船揚場整備による生け簀運搬時間の短縮効果

西海漁港は、生け簀の解体時には他港の民間施設に運搬し引き揚げて作業を行っているため、施設使用料等の費用を要している。

船揚場の整備により自港で生け簀の新設・補修作業が可能となり、作業時間の短縮と経費削減を図る。

区分		備考
生け簀運搬回数：(回/年)	①	12
生け簀利用経営体：(経営体)	②	2
1回当たり作業員数：(人/回)	③	6
1回当たり所要時間：(hr/回)	④	8
漁業労務単価：(円/hr)	⑤	1,643
燃料消費量：(L/hr)	⑥	78.8
燃料費：(円/L)	⑦	115
1回当たり産業廃棄物コスト削減：(千円/回)	⑧	200
年間便益額：(千円/年)		17,132
		調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)
		長崎県港湾・漁港請負工事積算基準(R7年10月)
		基本単価一覧表(R7年12月、長崎県)
		内訳：施設使用料_75千円、運搬委託料_125千円
		$① \times ② \times ③ \times ④ \times (⑤ + ⑥ \times ⑦) \div 1,000 + ① \times ② \times ⑧$

## 13) 船揚場整備による他港への移動時間及び経費削減効果

西海漁港は、自港に船揚場が整備されておらず、他港の民間施設に船舶の上下架作業を行っているため、非効率な作業を強いられている。

船揚場の整備により自港で船舶の上下架作業が可能となり、移動時間の短縮及び経費削減を図る。

区分		備考
対象漁船数：(隻) 漁船(5t~10t)	①	8
対象漁船数：(隻) 漁船(10t~)	②	4
作業員数：(人/日)	③	2
年間修理回数：(回/年)	④	2
漁業労務単価(円/hr)	⑤	1,643
移動に要する経費 漁船(5t~10t)：(L/hr)	⑥	56.9
移動に要する経費 漁船(10t~)：(L/hr)	⑦	78.8
移動に要する経費 ライトバン(1500cc)：(L/hr)	⑧	2.7
燃料代・重油(離島)：(円/L)	⑨	115
燃料代・ガソリン(離島)：(円/L)	⑩	119
(整備前) (水崎漁港利用)		
他港への移動時間(海路)：(hr/回)	⑪	0.5
他港への移動時間(陸路)：(hr/回)	⑫	1.0
(整備後)		
他港への移動時間(海路)：(hr/回)	⑬	0.0
他港への移動時間(陸路)：(hr/回)	⑭	0.0
労働時間削減便益：(千円/年)	⑮	39
燃料費削減便益(漁船)(5t~10t)：(千円/年)	⑯	104
燃料費削減便益(漁船)(10t~)：(千円/年)	⑰	72
燃料費削減便益(ライトバン)：(千円/年)	⑱	15
年間便益額：(千円/年)		230

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)

長崎県港湾・漁港請負工事積算基準(R7年10月)

長崎県港湾・漁港請負工事積算基準(R7年10月)

建設機械等損料算定表(R7年10月、長崎県)

基本単価一覧表(R7年12月、長崎県)

基本単価一覧表(R7年12月、長崎県)

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

$③ \times (① + ②) \times (⑪ - ⑬) \times ⑤ \times ④ / 1,000$

$(① \times 2 \text{往復} \times (⑪ - ⑬) \times ⑥ \times ⑨) \times ④ / 1,000$

$(② \times 2 \text{往復} \times (⑪ - ⑬) \times ⑦ \times ⑨) \times ④ / 1,000$

$( (① + ②) \times 2 \text{往復} \times (⑫ - ⑭) \times ⑧ \times ⑩) \times ④ / 1,000$

$⑮ + ⑯ + ⑰ + ⑱$

## 1 4) 船揚場整備による経費削減効果

西海漁港は、自港に船揚場が整備されておらず、他港の民間施設に船舶の上下架作業を行っているため、非効率な作業を強いられている。

船揚場の整備により自港で船舶の上下架作業が可能となり、船揚場使用料の経費削減を図る。

区分		備考
対象漁船数：(隻) 漁船(5t~10t)	①	8
対象漁船数：(隻) 漁船(10t~)	②	4
【整備前】水崎漁港での年間船揚場使用料		調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
船揚回数(回/年) 2回/年・隻	③	24
船揚場使用料(円/回・隻)	④	25,000
整備前使用料(円)	⑤	600,000
③×④		
【整備後】西海漁港昼ヶ浦地区の船揚場の利用料		
船揚回数(回/年) 2回/年・隻	⑥	24
①+②		
船揚場使用料(円/回・隻)	⑦	0
⑥×⑦		
整備後使用料(円)	⑧	0
⑤-⑧		
年間便益額(千円/年)		600
		(⑤-⑧)/1,000

## 15) 漁船の船底清掃作業の効率化による操業経費削減効果

西海漁港は、自港に船揚場が整備されておらず、他港の民間施設に船舶の上下架作業を行っているため、非効率な作業を強いられている。

船揚場の整備により船底清掃が円滑に行われ、年1回の清掃作業が年2回できるようになり、燃費効率が向上することから、燃油コストの削減を図る。(浜プランに掲げる1%の縮減効果を3%に引き上げる)

区分		備考
対象漁船隻数		
対象隻数(隻)	47	
1～3t ①	23	
3～5t ②	12	
5～10t ③	8	
10t～ ④	4	
燃料使用量(L/年対象漁船(隻)年間使用量(L)) ⑤	662,400	調査日：令和7年2月 調査場所：美津島町西海漁業協同組合 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者 調査実施者：対馬市基盤整備課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1～3t ① 23隻 1,600	36,800	
3～5t ② 12隻 7,500	90,000	
5～10t ③ 8隻 37,800	302,400	
10t～ ④ 4隻 58,300	233,200	
燃料単価(円) ⑥	115	基本単価一覧表(R7年12月、長崎県)
燃料削減率(%) ⑦	3.00	浜の活力再生プラン
年間便益額(千円/年)	2,285	⑤×⑥×⑦/1,000

## (5) 漁業就業者の労働環境改善効果

## 1) 漁港施設整備による労働環境改善効果

西海漁港は、荒天時の港内静穏度の悪化や干満差、また、港内の一部においては、岸壁・道路・用地等が整備されていない場所で漁業活動を行っているため、危険かつ非効率な作業を強いられている。

漁港施設の整備により陸揚・準備・休けい作業において、就労環境が改善され安全で効率的な作業ができることから、出漁機会が増え漁業者の所得向上を図る。

区分		備考
年間出漁日数：(日/年)	①	133
出漁日以外の漁港利用日数：(日/年)	②	72
漁業労務単価：(円/h r)	③	1,643
陸揚作業 (マグロ養殖) 今里		
対象漁船数：(隻)	④	6
対象作業員数：(人/隻)	⑤	4
1日当たり陸揚作業時間：(h r/日)	⑥	2.5
陸揚作業		
対象漁船数：(隻) 今里	⑦	29
対象作業員数：(人/隻)	⑧	2
1日当たり陸揚作業時間：(h r/日)	⑨	1.0
対象漁船数：(隻) 昼ヶ浦	⑩	47
対象作業員数：(人/隻)	⑪	2
1日当たり陸揚作業時間：(h r/日)	⑫	0.5
準備作業 (マグロ養殖) 今里		
対象作業員数：(人)	⑬	24
1日当たり準備作業時間：(h r/日)	⑭	1.5
準備作業		
対象作業員数：(人) 今里	⑮	58
1日当たり準備作業時間：(h r/日)	⑯	1.0
対象作業員数：(人) 昼ヶ浦	⑰	94
1日当たり準備作業時間：(h r/日)	⑱	0.8
休けい作業		
対象漁船数：(隻) 今里	⑲	35
対象作業員数：(人/隻)	⑳	2
1日当たり休けい作業時間：(h r/日)	㉑	0.5
対象漁船数：(隻) 昼ヶ浦	㉒	47

第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

第71次九州農林水産統計年報(R5~R6、農林水産省)

調査日：令和7年2月  
 調査場所：美津島町西海漁業協同組合  
 調査対象者：美津島町西海漁業協同組合職員及び地元漁業者  
 調査実施者：対馬市基盤整備課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

対象作業員数：(人/隻)	㉓	2		
1日当たり休けい作業時間：(hr/日)	㉔	0.3		
出漁日合計作業時間：(hr/日) 今里	㉕	3.5		
休漁日合計作業時間：(hr/日)	㉖	6.0		
出漁日合計作業時間：(hr/日) 昼ヶ浦	㉗	1.6		
休漁日合計作業時間：(hr/日)	㉘	6.0		
一般労務単価 (Bランク)	㉙	1.043	作業状況の基準値(R7、長崎県)	
一般労務単価 (Cランク)	㉚	1.000		
年間便益額：(千円/年)	出漁日	㉛	3,734	$\frac{(29-30) \times 1 \times 3 \times (4 \times 5 \times 6 + 7 \times 8 \times 9 + 10 \times 11 \times 12 + 13 \times 14 + 15 \times 16 + 17 \times 18 + 19 \times 20 \times 21 + 22 \times 23 \times 24)}{1,000}$
	休漁日	㉜	5,371	$(29-30) \times 2 \times 3 \times ((13+15) \times 26 + 17 \times 28) / 1,000$
			9,105	㉛+㉜